

不祥事根絶のための行動計画

【不祥事根絶におけた本校の決意】

子ども達は、私たちの姿を見て育ちます。

1 私達は、子ども達を守り、育てます。

2 私たちは不祥事を許しません。

3 私達は、法令等を順守します。

4 私達は、地域に開かれた学校にします。

三原市立深小学校

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
教職員の規範意識の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○「自分も不祥事を起こし得る」という危機感をもつこと ○不祥事防止に必要な知識を得ること 	<ul style="list-style-type: none"> ○実感をもって服務研修を行い、記憶に残るものにする。 ○不祥事に関する知識を得ることと、不祥事を「しない」「させない」ために適切な行動ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○服務研修のあり方について、実態を把握し、課題のある内容に沿って担当を決めて研修する。 ○不祥事に対する当事者意識を醸成するため、「人は誰もが弱いものであると理解すること」「自己を客観視すること」「学校という職場の特徴を理解すること」を通じて、誰にでも不祥事が起こり得ることについての認識を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○担当者がまとめをし、取組表のチェック・評価を行う。 ○年間計画に沿って担当制にし、責任をもって実施する。
学校組織としての不祥事防止体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○職場内の気付き、人材育成、サポートが十分とは言えない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○風通しの良い職場環境をつくり、組織対応をしながら、人材育成を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各部会の時間を保障し、進捗状況の確認やサポート体制づくりを進める。 ○適時に、仕事分担を適切に行い、平準化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○定例的に、不祥事防止委員会で状況を把握する。(校内外環境・児童の様子・職員の様子に気を配る)
相談体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○職員のメンタルヘルスの早期発見、早期対処及びフォローアップの環境づくりが不足している。 ○児童の心の状態の把握のため、担任・養護教諭・管理職の連携が更に必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○SCやSSW等と連携を図り、児童、職員のメンタルヘルスを良好に保つ。 ○担任・養護教諭・管理職の連携を強化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○誰でも相談できる体制づくりを行い、保護者からの相談も随時受ける。 ○不祥事防止委員会を定例化し、職員同士の意見の交流を大切にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学期末に児童、保護者及び本校職員を対象にアンケートを実施する。 ○学期末懇談会における保護者からの意見・相談について暮会等で確認する。